

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	ナノデス アクキュライズ	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.466	△RG	0.056	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

**テストボール：アクキュライズ**

フレアーの幅  インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離  インチ

4-1/2

研磨剤

**比較対照ボール：アクキュライン・ツアープレミアム**

フレアーの幅  インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

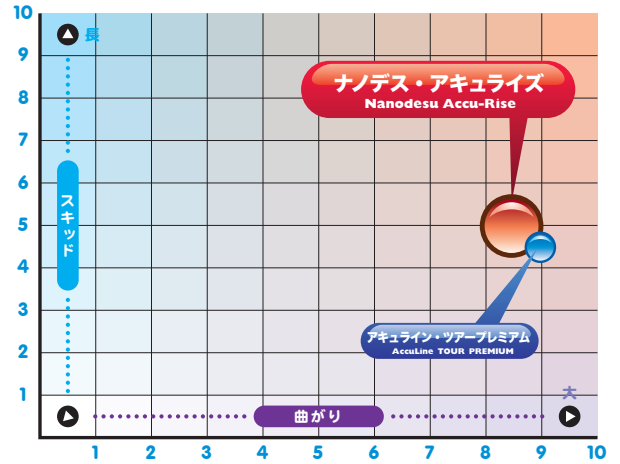
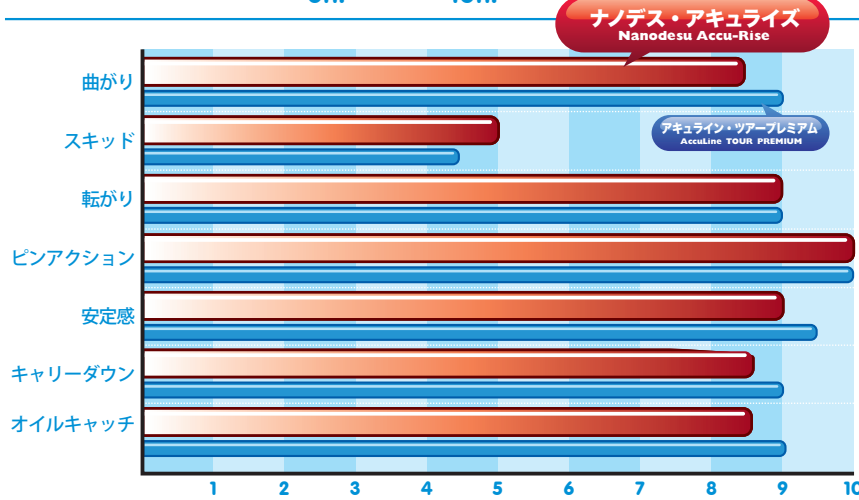
PAPからピンとの距離  インチ

4-1/2

研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



### ボールの評価

今年の9月、今までのナノデスブランドに革新的なカバーストックが生まれました。それはAccu-Line Tour Premiumから採用され、今までのナノデスのキャッチの常識を覆すものとなり、ナノデス史上、1・2を争う上上がりは数多くの優勝争いを演じるであろう予想をはるかに上回るスピードで、今年度のジャパンオープンの松永プロの優勝を筆頭に活躍し続けています。そして特殊な製法ゆえの限定販売もユーザーの熱望に応える形で今もお追加生産を行っています。ABSボール開発チームは現行ナノデスシリーズに使用されているカバーストックをTour Premiumの製法にフルモデルチェンジする意思を踏まえ、Accu-Rollブランドから名称を変更致します。そしてここにAccu-Riseブランドが立ち上がりました。Tour Premiumで示されたカバーストックNano-Thane 2.0はLevel-1からLevel-10段階の"2"Level(旧ナノデスカバーの15% Up)でTour Premiumと同等のカバーをこのAccu-Riseにも使用しています。そしてコアテクノロジーを転がり感とバックエンドの動きにシャープさを強調させられるMAX BIG SHUTTLEを採用。Tour Premiumと同等のカバーストックながらコア形状と配色と変化させることでしっかりとパフォーマンスと用途を変えて使えるよう仕上げました。Tour PremiumとAccu-Riseを投げ比べてみるとオイルに対しての強さは同じように感じるのですが、Accu-Riseのほうがコアの特性がTour Premiumよりも曲がり始めが遅めに感じます。Tour PremiumがMidで強く動き出すイメージところをAccu-Riseはそこを越えて、その先に動きを強く出そうとしています。ですのでTour Premiumのやや外目のラインがAccu-Riseになりますが、Tour Premiumよりも入射角の強さが特徴として表れています。多くを語らずとも、Tour Premiumを投球したかもしくはその軌道を見た方は、これからのナノデスから目を離せないのがお分かり頂けると思います。新たなナノデスの歴史の1ページの幕開けです。

### 特記事項

**Tour PremiumのNano-thane2.0とMAX BIG SHUTTLE Coreとの組み合わせ。Accu-Rise第一弾も圧倒的なパフォーマンスで皆様にお届けします。**